

# 環境大臣賞

## 緑あふれ花かおりたayo

## コミュニティパークづくり

南種子町

### =企画のテーマ=

本企画は、独立行政法人 薬用植物資源研究センター種子島研究部の協力により行う、かおりの植物を用いた都市公園の再生事業であると同時に、絶滅危惧種 タカクマムラサキの保存拡大事業である。

種子島は、青い空と碧い海に囲まれた緑豊かななまさに宇宙を望む島です。

宇宙ヶ丘公園は、宇宙航空研究機構 種子島宇宙センターから打ち上げられるロケットの見学場所として、最適な位置にあり、また、地域住民の憩いの場として整備されてきていますが、住民の利用が多くない現状です。

また、種子島には、環境省レッドデータブック絶滅危惧 IA 類 (CR) 科名 クマツヅラ科 属名 ムラサキシキブ属 日本名 タカクマムラサキ 学名 *Callicarpa longissima* (Hemsl.) Merr. 別名 ナガバムラサキ がわずかながら自生していますが、ごく近い将来に絶滅する危険性が極めて高い種とされています。タカクマムラサキは、葉にオイル分を多く含み、とてもいい香りがします。

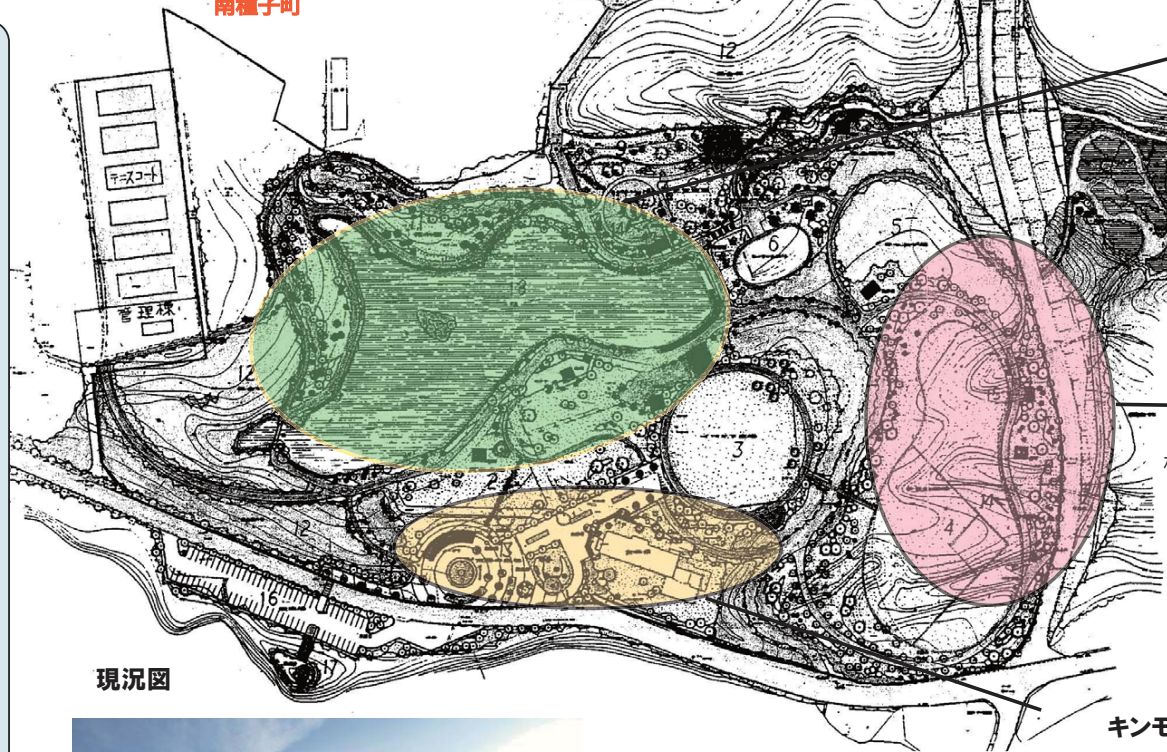
わたしたちは、絶滅危惧種であるタカクマムラサキの保護、増殖に努めるとともに、宇宙ヶ丘公園に良好なかおり環境を創出しすてきな香りを漂わせることで魅力ある空間として改善することで、住民の憩いの場となることを期待しています。

### =企画の効果=

美しさと香りの要素を取り込んだ都市公園の再生をすることで、地域の憩いの場としての魅力度アップを図ります。

特に、宇宙ヶ丘公園に、タカクマムラサキとキンモクセイと桜を植栽することにより、目で楽しむかおりで楽しめる空間として機能することを狙っています。

また、絶滅危惧種であるタカクマムラサキを保護、増殖することでふるさとの自然の保護につとめることを狙っています。



現況図



### みどりあふれ香り漂うパーク

松月桜・キンモクセイ・タカクマムラサキにより春・夏・秋に、美しい花に囲まれた、かおり漂うコミュニティ公園に再生する。

### タカクマムラサキゾーン

タカクマムラサキ

環境省レッドデータブック絶滅危惧 IA 類 (CR)

科名 クマツヅラ科

属名 ムラサキシキブ属

日本名 タカクマムラサキ

学名 *Callicarpa longissima* (Hemsl.) Merr.

別名 ナガバムラサキ



タカクマムラサキ

300本

### 松月桜ゾーン

松月桜

150本



### キンモクセイゾーン



キンモクセイ

150本



稚内市中央地区 <彩北の桜路> と <香りとみどりの散策路>

かお

# “香りゃんせ通り” コミュニティガーデンづくり

■**企画の目的**：最北端の稚内市は年間約 600 人の人口減少に加え、中心市街地では近年の大火とその不安（警戒感）、そして高齢化による商店街の空洞化等の課題を抱えます。本企画は中央埠頭の施設フェリーターミナル（国内・国際）から緑少ない中心市街地、そして稚内森林公園への通り（中央埠頭通り-中央8条通り-公園環状線（※））などの沿線を対象として、「香りづくり」・「緑化による景観づくり」・「まちの活性化」・「人づくり」を展開し、コミュニティガーデンを形成しようとするものです。私たちはこの活動を市民に広く公開しアピールすることを通してまちの再生に意識をもって頂くと共に、緑被や香りを通して安全にかつ安心感をもって住み続けられるまちづくりにつなげます。また、この活動を通して稚内市の内外からの稚内ファンや参加型ボランティアを受け入れるステージづくりもおすすめです。

■**まちづくりのテーマ・コンセプト**：中央8条通り等（※）を「香りゃんせ通り」へ / 最北の国道と鉄道の「起点」を「香り」の起点に。

■**香りのテーマ・コンセプト**：最北の香りにはラベンダーが最適 / 宗谷丘陵にはエゾ山桜と千島桜が彩りを添え / 藤、アルメリア、クレマチスが心躍らせる。

■**樹木管理体制**：桜守による桜の木カルテ制度の導入 / 1本毎に観察記録を残し / 市民及び企業による植樹及び管理を行います。



①市役所・総合文化センター・市立病院  
花壇づくり・花のサイン・香りの樹木



②歴史的建造物の保存・再生利用  
塀や壁をツタにより緑化・既存庭を再生  
藤棚・案内板の設置や駐車場等の整備  
ポーター花壇づくり



⑥副港通り・市営住宅・共同住宅  
プランター等による花壇づくりと壁面緑化



⑦工場・倉庫・事務所（公共施設等）・駐車場  
ツタで壁面緑化・ポーター花壇づくり



## 使用する樹木・宿根草・その他の草花

- a: エゾ山桜 100本 / b: 千島桜 100本 / c: ソメイヨシノ 20本 /
- d: シダレ桜 20本 / e: 関山 20本 / f: 藤 10本 /
- g: ライラック（紫） 20本 / h: ライラック（白） 20本 / i: スモモ 10本 /
- j: 花リンゴ 10本 / k: ツタ 10本 / l: ヘメロカリス 100ポット /
- m: ラベンダー 600ポット / n: アルメリア 100ポット / o: クレマチス 100ポット

### <彩北の桜路>

「公園環状線」は、日本最北端の桜の名所である「稚内森林公園」の隣にあり、彩り豊かな桜の路として中心市街地と人々を結びつける魅力あふれるアプローチ空間となります。

### <香りとみどりの散策路>

「中央埠頭通り」-「中央8条通り」には殺菌、抗菌作用やストレスを和らげるラベンダーを配置し、ハーブの効能と甘いさわやかな香りが彩北のまちを訪れる人々を癒します。また、埠頭付近のランドスケープは、ツタによって緑被し、視覚的にも安らぎを与えます。

### ③最北端のアーケード街・商店街

花のウェルカムゲートとラベンダーで来稚者を歓迎します

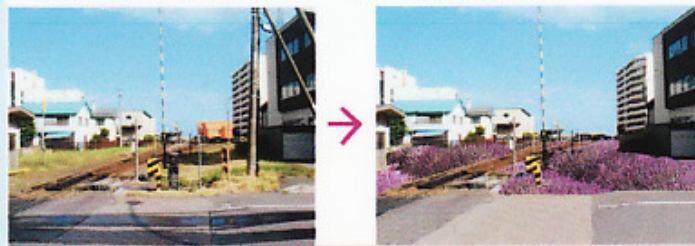


### ④最北端の国道40号：最北の起点 50mにラベンダーシンボルツリー（ポプラ）の周囲を花壇等で整備します



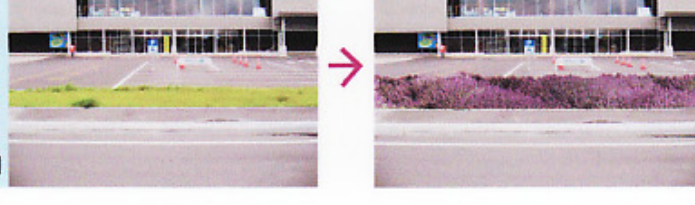
### ⑤最北端の鉄路

最北の起点 50mの鉄路にラベンダーの種を撒きます



### ⑧フェリーターミナル（国際・国内離島）・駐車場

ラベンダーの香りで国内外からの旅人の疲れを癒します



“香りゃんせ通り” コミュニティガーデン  
現地地図及び香りの樹木・草花配置図

# 日本アロマ環境協会賞

自分たちの出した生ごみが生まれ変わる。

植栽後のイメージ

## 植栽配置予定図①

既存のキンモクセイとサツキを利用し、ラベンダーを植栽します。

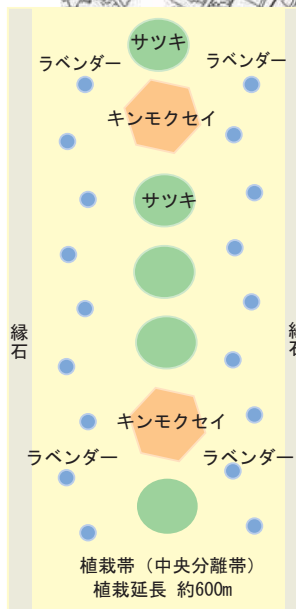


植栽帯

## 家庭生ごみの、分別回収にご協力を!!



## 植栽配置予定図②



植栽帯 (中央分離帯) 植栽延長 約600m

使用する樹木

ラベンダー 2,000本

植栽予定 平成21年~平成25年

# ハーブのかほりを楽しむ街を目指して



## 企画の目的

飯田市の中心市街地である橋南地区には、かおり風景100選の1つであるりんご並木があります。この橋南地区では、生ごみの分別収集が平成14年11月から行なわれています。分別収集された生ごみは、堆肥として商品化されています。この堆肥を自分たちの元へ循環し、活用させたいと考えました。現在、植栽予定地にはキンモクセイとその足もとにはサツキが植わっています。しかし、近年このサツキが著しく弱ってきたため、ここの土作りのためにその堆肥を利用し、香りも楽しめ、美しく、クラフトなどの利用価値もあるラベンダーを植え、既存のサツキと調和をはかりながら環境整備を行います。また、地域住民が植栽・維持管理することにより、地域コミュニティの向上を図りたい。全長600m幅20mの通りの中央分離帯の街路樹の足もとにラベンダーを植え、街がラベンダー色と香りにつつまれることにより、中心市街地の活性化につなげる。

## 企画の効果

- ①まちづくりへの効果  
花の時期には、花や香りを楽しむ人が中心市街地に集まり、語りや賑わいを生み、また、いっしょに手入れや摘み取り利用するためのクラフト作り等で地域の人々の間につながりを生む。
- ②香り環境への効果  
風に乗って香りが運ばれることで、街全体の雰囲気や雅に香る街へと期待する。
- ③住民への効果  
家庭から出す生ごみを分別回収することにより、堆肥が作られそれを利用した土により香り豊かな街路へと還ってくる。自分たちの努力が目に見えることにより環境への関心が高まること期待できる。

## 香りのテーマ

詩人 岸田国土〈飯田の町に寄す〉に詠われている

飯田 美しき町 山近く 水にのぞみ 空明るく  
風匂かなる町 この風の中に、春は、  
りんごの花が香り 初夏はラベンダーが香り  
秋にはキンモクセイが香り、たわわに実るりんご  
の香りがする。 何時も香りが溢れるまち。

## 現状写真

※キンモクセイ・サツキを利用しつつ現在の配置を整理して、ラベンダーを植栽



# 入賞

## 「風薫る通学・通園路」

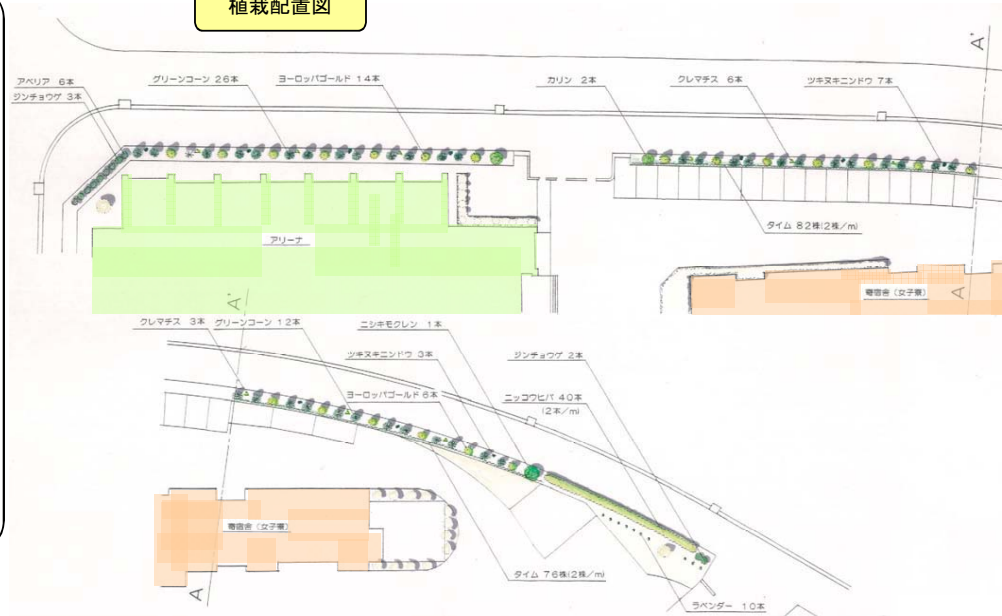
企画者：学校法人 スコーレ / 小岩井農牧株式会社

岩手県盛岡市では姉妹都市ビクトリア市にならい、「花と緑のガーデン都市づくり」を推進しています。具体的にはハンギングバスケットを軸に市民や事業者、行政と協働で取り組み、盛岡を訪れる人を楽しませています。2007年時点では、ハンギングバスケット数が620個と、国内最多を誇っています。

本計画は、**盛岡らしい花と緑の文化創出に向けた新たな視点での提案**です。盛岡の冬は積雪20～30cmとそれ程多くないのですが、寒さが厳しく-10数°Cまで下がります。そのため、植栽可能な植物が限られてしまいます。今回のテーマである「**かおり**」は、**北国での緑化の構成要素としてとても大事なもの**だと考えます。

今回の対象地は、通学および通園に利用されている歩道に面しております。**この一面に提供される「みどりと香り」は、園児等の学校利用者とともに近隣住民にも快適な空間を創出して**くれます。植樹は入学・入園記念事業として行いますが、その際には地域住民にも参加を呼びかけ、地域に愛される学校づくりの一環とします。散策が楽しくなる街路は、「香りによるまちづくり」の新たな提案なのです。なお、タイムやラベンダー、クレマチスの苗は、学生の授業やクラブ活動のなかで増殖し、それを使用します。また、維持管理についても同様に学生が主体となって取り組みます。

植栽配置図



現地地図



使用する植物一覧

ニッコウハバ (40本)	グリーンコーン (38本)	ヨーロッパゴールド (20本)
ツキヌキニンドウ (10本)	ラベンダー (10本)	クレマチス (9本)
アベリア (6本)	ジンチョウゲ (5本)	カリン (2本)
ニシキモクレン (1本)	タイム (158株)	(本)

現況写真



成木時予想図

